

---

# 令和4年度予算第一特別委員会質問要旨

---

○ 局別審査

令和4年2月28日

質問者（質問順）

- 1 ふじい 芳 明 委 員 (立 憲 党)
- 2 斎 藤 真 二 委 員 (公 明 党)
- 3 荒 木 由美子 委 員 (共 産 党)
- 4 青 木 亮 祐 委 員 (自 民 党)
- 5 長谷川 琢 磨 委 員 (自 民 党)
- 6 高 橋 のりみ 委 員 (自 民 党)

経 済 局



## 局 別 審 査

### 1 ふじい 芳 明 委員（立憲党）

#### 1 横浜経済の対策強化と新たな産業と雇用の創出について

- (1) 令和4年度予算で経済局が担う役割について伺いたい。
- (2) 自社業況BSIと横浜市の経済対策に乖離があると考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 自社業況BSIと横浜市の経済対策に乖離があると考えているが、引き続き頑張っていたきたい。
- (3) 成長戦略の視点をグリーン・デジタル・ヘルスケアに据え、基礎研究や、イノベーションの創出が期待できる創造的研究への支援を強化し、新しい産業と雇用を創出すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (4) ベーシック・サービスの医療、介護、看護、障害福祉、子育て、保育、教育等を充実させ、将来の不安を解消することで、経済成長を促すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (5) 特に働き手が不足している介護・福祉・医療分野のDXを推進させ、横浜の経済を力強く支えるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (6) 介護や特に医療の看護分野における具体的な施策について伺いたい。
- (7) 横浜市独自の中小・小規模事業者の経済及び財政の公的支援策を行うべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 他都市の事例を踏まえ、横浜市も中小・小規模事業者への公的支援策を行うよう要望する。

#### 2 デジタル化による横浜市の行政手続きの迅速化について

- (1) 補助金事務デジタル化促進事業の内容について伺いたい。
- (2) 補助金事務のデジタル化を促進することによる効果について伺いたい。
- (3) 本市においてもデジタル化による職員の業務効率を上げるとともに、事業者や市民サービスの利便性向上を加速させ、行政手続き等のデジタル化を迅速化すべきと考えるが、見解を伺いたい。

- (4) 特に区役所の窓口について、行政手続き等のデジタル化を迅速化すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) デジタル統括本部とも連携して、各区局にデジタル化が広がるように取り組んでいただくよう要望する。

### 3 中小企業・小規模事業者への支援強化と予算拡充について

- (1) IDEC横浜が行う基礎的な支援の内容について伺いたい。
- (2) 令和3年度にワンストップ経営相談窓口寄せられた相談の傾向について伺いたい。
- (3) IDEC横浜におけるワンストップ経営相談以外の相談メニューについて伺いたい。
- (4) 事業者の皆様へ周知していくために広報の改善を行うべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (5) 小規模事業者向け設備投資助成の予算を拡充すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (6) グリーンリカバリー設備投資助成に期待する効果について伺いたい。
- (7) グリーンリカバリー設備投資助成による具体的な効果の見込みについて伺いたい。
- (8) グリーンリカバリー助成制度では、事業者が利用しやすくなるよう、対象となる設備のメニュー化を図るなど積極的な提案を図るべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) これらの制度周知を積極的に実施していただくよう要望する。

### 4 中小企業融資の期間短縮について

- (1) 中小企業融資事業において経済局が担う役割について伺いたい。
- (2) 中小企業融資事業の利用実績と効果について伺いたい。
- (3) 相談開始から融資実行まで、平均して3カ月前後の時間がかかるようだが、もっと早く行えるように改善すべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 資金繰りの支援状況を踏まえた上で、市内中小企業に寄り添った対応をいただくよう要望する。

## 5 商店街の消費喚起策支援の改善について

(1) 横浜市のすべての商店街で使えるような、例えば「横浜市商店街 P a y」のようなものを作り、より市民の皆様が利用しやすいようにすべきと考えるが、見解を伺いたい。

(2) 商店街に加盟していない店舗に対しても、この事業の恩恵がもたらされると考えるが、見解を伺いたい。

(3) 国の予算だけでなく、横浜市独自予算も加算して事業を拡大すべきと考えるが、見解を伺いたい。

(意見) 事業を通じて商店街全体がにぎわい、明るくなることを期待する。

## 6 勤労者福祉共済事業（愛称：ハマふれんど）の拡大について

(1) 「ハマふれんど」の事業目的について伺いたい。

(2) 新型コロナウイルス感染症の拡大を受けての新たな取組について伺いたい。

(3) 目標をもって事業拡大を行うべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 今後も会員数の増加に向けて、目標を持って事業を行っていただくよう要望する。

## 7 市場の施設機能強化について

(1) 公設公営の中央卸売市場を経済局が担う理由について伺いたい。

## 2 齋藤真二委員（公明党）

### 1 中小企業の経営支援について

- (1) コロナ禍による横浜経済への影響及び変化について伺いたい。
  - (2) コロナ禍における I D E C 横浜の支援事例について伺いたい。
  - (3) 様々な支援制度をご活用いただくための工夫について伺いたい。
  - (4) 中小企業支援に向けた意気込みについて伺いたい。
- (要望) 中小企業の皆様が安心かつ前向きに事業に取り組めるよう丁寧で積極的な支援を要望する。

### 2 ものづくりへの支援について

- (1) ものづくり産業は、いつの時代でも基本となる重要な産業であるべきと考えるが、見解を伺いたい。
  - (2) 新技術・新商品開発の支援について伺いたい。
  - (3) 市内中小企業の優れた技術を P R し、販路拡大につなげていくべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 優れた技術・製品を持つ横浜市のものづくり企業が、世界に羽ばたく企業となれるよう、引き続きしっかりと支援していただくことを要望する。

### 3 「イノベーション都市・横浜」の推進について

- (1) 「イノベーション都市・横浜」を推進する狙いについて伺いたい。
  - (2) これまでのスタートアップ成長支援の実績と成果の事例について伺いたい。
  - (3) 今後、スタートアップ支援で注力する分野と強化する取組について伺いたい。
  - (4) 渋谷区と連携した取組について伺いたい。
  - (5) 横浜未来機構と連携した「イノベーション都市・横浜」の推進について伺いたい。
- (意見) 横浜からイノベーションにより社会課題を解決する新たなビジネスが数多く生まれ、横浜の成長発展につながることはもとより、日本全体の活性化にも貢献していくことを期待している。

#### 4 就職支援事業について

(1) コロナ禍以降の雇用情勢について伺いたい。

(2) 人手不足の業種について伺いたい。

(3) 令和4年度の就職支援の工夫について伺いたい。

(要望) 人材を確保したい企業と就職を希望する方のマッチングを力強く進めていただき、若者や高齢者など、仕事をしたいあらゆる市民の雇用・生活を守り、また、市内企業の発展にもつなげることを要望する。

#### 5 コロナ禍を踏まえた商店街支援について

(1) 商店街プレミアム付商品券支援事業の意義と見込まれる事業効果について伺いたい。

(2) 商店街社会課題チャレンジ事業の内容と想定される取組について伺いたい。

(3) 各商店街のコロナ禍を踏まえた活性化策の共有方法について伺いたい。

(要望) 引き続き、それぞれの商店街の特性に応じた政策に力を入れていただくよう要望する。

#### 6 横浜南部市場の現状、今後の活性化について

(1) 「ランチ横浜南部市場」と「食の専門店街」の現状について伺いたい。

(2) 地域への経済波及に向けた横浜南部市場の今後の取組について伺いたい。

(3) 新たなお客様を増やしていくための戦略について伺いたい。

(意見) 横浜南部市場の周辺には、様々な魅力を持つ施設が集まっている。南部市場からもこうした施設との連携を働きかけ、横浜の新しい人気スポットとして多くの方に楽しんでいただけるよう、今後の積極的な取り組みを期待している。

### 3 荒木 由美子 委員（共産党）

#### 1 中小企業における新型コロナウイルス感染症の影響とその対策について

- (1) 経済局における一般会計予算は1,577億円で、そのうち1480億円は金融対策費が、94%を占めている。融資を除く施策として経済局が予算を組める額は97億円とわずかと考えるが、見解を伺いたい。
- (2) この少ない額で施策を検討し、より効果がでるように考えて予算編成しているのは理解できる。新型コロナウイルス感染症の影響を受けている中小企業に対して、どういう施策を検討したのか、伺いたい。
- (3) 新型コロナ感染症の影響を受けた小規模事業者の実態について、特に時間短縮要請を受けた飲食業、飲食の卸をしている小売店、それ以外の自営業者などの廃業等の状況について把握しているのか、伺いたい。
- (4) 小規模事業者からの営業存続についてここ2年間の相談件数について伺いたい。
- (5) 借りた資金は返済しなければならない。この点では景気が回復している状況にはなく、さらにまた借りないと営業ができない実態についての相談はどういう傾向になっているのか、伺いたい。
- (6) 金融機関からの債務の免除、および返済の大幅猶予などを創設することを求めるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (7) 小規模事業者向け緊急支援事業の申し込み状況について伺いたい。
- (8) 小規模事業者向け緊急支援事業を作った目的はなにか。またこの制度は市の単独事業なのか、伺いたい。
- (9) この事業を知って申し込んだが外れた自営業の方から相談があった。申し込み期間があまりに短く、慌てて申し込みをしたが、この制度はとてもありがたいとのこと。再度、この制度を令和4年度も作って、小規模事業者を応援すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (10) ニーズがある事業のため、令和4年度も引き続き、補助制度を作ってもらおうよう検討してもらいたいと考えるが、改めて見解を伺いたい。

- (11) 経営的にも厳しい小規模事業者にとって、融資ではなく、補助制度がどれほど助かるか、その点はよく理解されているはず。県や国の制度以外で本市の支援制度にはどのようなものがあるか、伺いたい。
- (12) 事業を継続できるように、国に対し、再度の持続化給付金実施を要求してはどうか、また、申請手続きの簡素化についても併せて求めるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (13) 中小・小規模事業者にとって一番効果的なのは、消費税を減税することである。新型コロナウイルス感染症の影響が大きいことを受けてこれまでに50か国が消費税減税等の付加価値税減税を実施しており、国に消費税減税を求めるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 市内企業の99.5%を占める中小企業を守るために、国に消費税減税を求めることを要望する。

## 2 企業立地促進条例について

- (1) 令和4年度予算で1億円以上の助成金を交付する大企業と中小企業の認定社数について伺いたい。
- (2) 企業立地促進条例により、経済波及効果が高いというが、体力のある企業に助成することで本市への経済波及効果があると言える根拠について伺いたい。
- (3) 中外製薬株式会社に助成することを認定した時期と助成額について伺いたい。
- (4) 助成金以外に固定資産税などの減税があるか、伺いたい。
- (5) 研究所開発予定地に開発許可を出さないように求める訴訟が起きていることを承知しているか、伺いたい。
- (6) 中外製薬が企業立地促進条例の助成金を市から得るとしている。その一方で住民の安全という視点とは間違った方向で研究拠点施設を建設しているという認識はないのか、伺いたい。
- (7) 企業立地促進条例の目的から逸脱するような助成については、認定を取り消すなど、見直しをすべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 利益が出ている大企業に助成するよりも、小規模事業者のための助成を要望する。

## 4 青木亮祐委員（自民党）

### 1 企業誘致について

- (1) 誘致活動におけるトップセールスの効果について伺いたい。
- (2) 前市長がトップセールスをして立地した企業について伺いたい。
- (3) 市長を先頭に立てて企業誘致を進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 市長が企業誘致をリードし、全国の企業や経営層に対して、しっかりとアピールしていただくよう要望する。

### 2 デジタル化に向けた取組について

- (1) 補助金事務のデジタル化を促進することによる申請事業者のメリットと課題について伺いたい。
- (2) 補助金事務デジタル化促進事業の今後の展開について伺いたい。
- (3) 市内中小企業のデジタル化の現状と課題について伺いたい。
- (4) 中小企業のデジタル化推進に向けた今後の取組について伺いたい。
- (要望) 横浜経済の発展のため、市内中小企業の実情に合わせながら、デジタル化の積極的な支援を要望する。

### 3 市内中小企業に向けた事業承継支援について

- (1) 令和3年度の事業承継セミナー等の実績について伺いたい。
- (2) 事業承継相談窓口の概要と支援事例について伺いたい。
- (3) 令和4年度の事業承継支援の展開について伺いたい。
- (要望) より多くの中小企業の事業承継が、強力にサポートされるよう要望する。

### 4 職業訓練事業について

- (1) 職業訓練事業の拡充内容について伺いたい。
- (2) 優先枠の設定の考え方について伺いたい。
- (要望) 職業訓練の実施にあたり優先枠を拡大することで、就労困難な方たちも含めて幅広く支援していただくよう要望する。

## 5 エシカル消費の普及・啓発について

- (1) エシカル消費の普及・啓発の必要性について伺いたい。
- (2) エシカル消費を浸透させるための進め方について伺いたい。
- (要望) エシカル消費について、市として力を入れて取り組んでいただくようお願いしたい。

## 6 商店街支援について

- (1) 商店街の老朽化した施設撤去助成の過去3年間の実績について伺いたい。
- (2) 商店街施設状況調査の実施内容について伺いたい。
- (3) 商店街の街路灯の撤去に合わせて、街の灯りを確保することに配慮してほしいと考えるが、見解を伺いたい。
- (4) 商店街保有施設における脱炭素化に向けた支援について伺いたい。
- (5) 新たに設立される商店街への支援の方向性について伺いたい。
- (要望) 厳しい状況にある商店街の持続化支援と合わせて、新しい商店街の立ち上げに対しても、積極的な支援を要望する。

## 1 I・TOP横浜について

(1) 「I・TOP横浜」の取組を進めていく意義について伺いたい。

(2) 字幕表示システムの実証実験の狙いについて伺いたい。

(3) 字幕表示システムの内容及び特徴について伺いたい。

(4) 実証実験を通じての来庁者や窓口職員の評価について伺いたい。

(要望) タブレット端末を用いて遠隔通訳を導入する取組を、国際局が行っていると伺っている。字幕表示システムが外国語に対応できれば、タブレット端末から字幕表示システムへと置き換えられる可能性もあるため、国際局との連携を要望する。

(5) 字幕表示システムの実用化に対する期待について伺いたい。

(意見) 「I・TOP横浜」によるプロジェクト創出を通じて、革新的な技術や製品が生み出されていくことで、新たなビジネスチャンスが生まれる街としての求心力、さらなる企業や人材の集積、横浜経済の活性化という好循環、今後の展開に大いに期待している。

## 2 グローバル拠点都市の推進について

(1) グローバル拠点都市の取組状況について伺いたい。

(2) イノベーション人材育成の具体的な取組について伺いたい。

(3) 小中高生を対象とする次世代教育の進め方について伺いたい。

(4) イノベーション人材の育成に向けた意気込みについて伺いたい。

(意見) 多様な人材や組織の交流から新たなビジネスを生み出す「イノベーション都市・横浜」を積極的に推進し、国内外から人・企業・投資を呼び込むことを期待している。

## 3 横浜マイスター事業について

(1) コロナ後を見据えた外国人観光客向けの取組について伺いたい。

(2) 公共施設を活用するなどの工夫を行った広報について伺いたい。

(3) マイスター事業の現在の課題及び今後の進め方について伺いたい。

(要望) 横浜の宝である横浜マイスターが、今後も、技能職の振興はもちろん、観光・シティプロモーションなどでも一層大きな役割が果たせるよう、市として力強く支えていただくことを要望する。

#### 4 緊急商店街関連調査の結果を踏まえた施策について

(1) 10年ぶりに実施した調査結果の概要について伺いたい。

(2) 調査結果を令和4年度予算案にどのように反映したのか伺いたい。

(3) 調査結果を引き続き、施策へ効果的に生かしていくべきと考えるが、見解を伺いたい。

(意見) 調査結果を有効に施策に生かしていただくことを期待している。

#### 5 横浜市消費生活総合センター運営事業について

(1) 消費生活相談員の確保に向けた取組について伺いたい。

(要望) 相談員の長期的かつ安定的な確保に向け、国や県とも連携しながら取り組むことをお願いすると同時に、若者への教育、啓発活動、注意喚起を引き続き要望する。

#### 6 シルバー人材センター助成事業について

(1) 予算が減少していることへの認識について伺いたい。

(2) 受注開拓に向けた取組について伺いたい。

(要望) 社会保障費抑制の観点や、会員本人のやりがいや幸せのためにも、横浜市として、シルバー人材センターにしっかりと予算を付けることを要望する。

1 市内中小企業の事業継続支援について

- (1) B C P 策定に向けた本市の支援の考え方について伺いたい。
  - (2) 事業継続力強化計画策定支援の具体的な取組について伺いたい。
  - (3) 民間企業をはじめ、各機関と連携して事業継続力強化計画の広報・啓発を進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 民間事業者の皆様をはじめ、様々な機関の力添えを得ながら、効果的に事業を進めることを要望する。

2 市内中小企業の国際ビジネス支援について

- (1) 国際ビジネス支援において連携している海外の関係機関について伺いたい。
  - (2) 市内中小企業と外資系企業の交流・連携を図る方法について伺いたい。
  - (3) 国際ビジネス支援の成功事例のアピールについて伺いたい。
- (要望) 実際に I D E C 横浜の支援を受けた企業の声は、他の企業にとっても非常に参考になると思うので、今後も事例紹介の取組を続けていただきたい。

なお、現在、国会において経済安全保障の法案整備の動きが進んでいる。市内中小企業の国際ビジネス支援は引き続き積極的に進めていただきつつ、あわせて、技術流出防止など市内企業のリスク回避に向けた取組にも力を入れていただくことを要望する。

3 現場に寄り添った中小企業支援について

- (1) 中小企業のデジタル化に向けた支援について伺いたい。
  - (2) 小規模事業者支援の今後の進め方について伺いたい。
- (要望) 事業者に寄り添った丁寧な支援により、小規模事業者の皆様をしっかりとお支えいただくよう要望する。

4 持続的な商店街活動に向けた取組について

- (1) 商店街組織の持続化に向けた支援内容について伺いたい。

(2) 商店街コラボボックス事業の実施目的と現状について伺いたい。

(3) 未加入の店舗に対して、商店街への加入メリットがしっかり伝わることが重要と考えるが、見解を伺いたい。

(意見) 今までの経済局の事業が、商店街に入りたい、商店街を新規で立ち上げたいという方への起爆剤になっているのではないかと思っている。今後も期待している。

## 5 研究所立地に関する土地利用方策の策定について

(1) 研究所立地に関する横浜のビジネス環境の評価と企業動向について伺いたい。

(2) 工場等撤退に伴う土地取引に対する本市の取組について伺いたい。

(3) 研究所立地に向けた令和4年度の取組の方向性について伺いたい。

(意見) 例えば金沢区では、工業団地の工業用水、事業者の撤退、国有地の活用など、土地利用について、しっかりと市内を見渡し、よりよい横浜の経済のために頑張ってください。

